

ファームウェアアップデート

V1.10 の新機能

2016年8月にドイツ Mutec 社より「MC-3+ USB」の新ファームウェア V1.10 が公開され、以下の改善・新機能が追加されています。

・リクロックアルゴリズムの改善・最適化

より明瞭度と解像度を増した、更に高いレベルの音質を実現。

・モードチェンジ機能

これまで別々だった再生モード“USB-PCM”と“USB-DSD/DoP”が、“USB-PCM / DSD / DoP”に統一。このモード時にはフロントパネルの REFERENCE 部分の上 3 つの LED が点灯し、入力された PCM と DSD / DoP を自動で認識して切り替えます。

・USB 接続使用時に“AUDIO” LED が点灯

USB 接続使用時、PCM と DSD / DoP の音声を入力している際にはフロントパネルの STATUS 部分にある“AUDIO”の LED が点灯するようになりました。

・デフォルト値が 44.1kHz に

デフォルト値設定：REFERENCE で DSD / DoP が選択された際のクロックアウトのデフォルト値が 44.1kHz になりました。(ファクトリーリセット後や初回起動時の場合)

・追加機能“フェードイン・フェードアウト”

フロントパネルからの機能やモードの切り替え時に発生するクリック音やポップ音を最小限に抑える、もしくは完全に無くす為にフェードイン・フェードアウトの機能が導入されました。例えばサンプリングレート変更など同期が新しく設定された場合にはフェードインが実行されるようになりました。